【所轄地区:内牧地区】

# 内牧地区公民館・内牧南公民館

内牧

## ◇運営の基本方針

生涯学習の拠点として、住民の学習要求に即した事業を展開し、各種情報を提供する。また、地域団体・組織と連携し、地域連帯意識の高揚と生活文化の発展を図る。

## ◇重点施策

1　住民の学習要求に応え、学習機会の充実を図るため生涯の各時期に応じた事業を実施する。
2　地域住民の連携と活性化を図りつつ、自治意識を高めるため地域全体で取り組む事業を実施する。
3　自然に恵まれた特色を生かして、地域住民が喜びを感じる事業を実施する。

## ◇重点事業

1　スマホ講座
2　職業体験講座
3　キッズフェスタうちまき
4　内牧地区文化祭

内牧地区公民館
所在地　〒344-0051　春日部市内牧４３９８番地
内牧市民センター内
ＴＥＬ　０４８－７５２－３２５５
ＦＡＸ　０４８－７５２－３２５５
E-mail　uchikou@city.kasukabe.lg.jp

内牧南公民館
所在地　〒344-0051　春日部市内牧１４９８番地
ＴＥＬ　０４８－７６１－００６５
ＦＡＸ　０４８－７６１－００６５
E-mail　uchinankou@city.kasukabe.lg.jp

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 職　員 | 館　　長（兼務） | 新　井　道　彦 | 主　　査（兼務） | 豊　田　亜衣子 |
| | 主　　任（兼務） | 島　﨑　勇　治 | 主　　任（兼務） | 大　脇　久　男 |
| | 主　　任（兼務） | 赤　坂　亮　祐（社会教育主事） | | |
| | フルタイム（兼務） | 手　塚　克　己 | フルタイム（兼務） | 細　谷　　実 |
| | フルタイム（兼務） | 佐　藤　幸　子 | フルタイム（兼務） | 土　屋　あい子 |

内牧地区　1

| 事業名<br>テーマ | 子育てサロン　うちまきプレイルーム | 対　象 | 未就学児と<br>その家族 | 定員 | 自由参加<br>企画により<br>定員設定 |
|---|---|---|---|---|---|
| ねらい | 気軽に保護者・親子で遊べるスペースとして公民館を開放し、イベント実施と併せて、乳幼児を抱える保護者同士のコミュニケーションの場とする。 | | | | |
| 協力機関<br>及び団体 | 内牧地区更生保護女性会　他 | 特　色<br>位置づけ | 子育て支援事業<br>重点事業 | SDGsの目標No | 1・3・4・5・10・11・16・17 |
| 会　場 | 内牧南公民館 | 教　材<br>資料等 | 遊具・玩具・絵本　等 | | |
| 実施までの経過 | 4月　事業計画書提出<br>計画の公表・配布・配信 | PR方法 | 広報かすかべ<br>公民館だより<br>SNS | | |
| | | 受付方法 | 原則自由参加<br>一部企画は定員設定あり | | |

| 月日(曜) | 時　間 | 内　容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名<br>氏　名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 男 | 女 | 合計 | |
| 回　数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 4月4日(木) | 10:00～12:00 | 茶話会 | 座談会 | 14 | 19 | 33 | 内牧地区更生保護女性会 |
| 5月2日(木) | 10:00～12:00 | 「こいのぼりを作りましょう」 | 体験 | 1 | 8 | 9 | |
| 6月6日(木) | 10:00～12:00 | 「バルーンアート」 | 体験 | 4 | 9 | 13 | 大塚果樹園 |
| 7月4日(木) | 10:00～12:00 | 「七夕かざりを作りましょう」 | 体験 | 4 | 13 | 17 | |
| 8月1日(木) | 10:00～12:00 | 「夏まつり」ヨーヨー釣り、その他 | 体験 | 17 | 24 | 41 | |
| 9月5日(木) | 10:00～12:00 | オリジナルマスコットづくり | 体験 | 3 | 16 | 19 | |
| 10月3日(木) | 10:00～12:00 | 「キャンディレイを作りましょう | 体験 | 6 | 13 | 19 | |
| 11月7日(木) | 10:00～12:00 | 「みかん狩り」(予約制20組) | 体験 | 9 | 32 | 41 | |
| 12月5日(木) | 10:00～12:00 | 「クリスマスサンタを作りましょう」 | 体験 | 5 | 16 | 21 | |
| 1月9日(木) | 10:00～12:00 | 「節分を楽しもう」 | 体験 | 5 | 7 | 12 | |
| 2月6日(木) | 10:00～12:00 | 「おひな祭り」 | 体験 | 2 | 12 | 14 | |
| 3月6日(木) | 10:00～12:00 | 茶話会 | 座談会 | 5 | 4 | 9 | |
| 12回 | 24時間 | | | 75 | 173 | 248 | |

| 企画運営上の工夫 | 例年通り、開催日を毎月第1木曜日と固定し、参加者が忘れないような開催日設定を行った。広報活動も、公民館だよりに加えて「安心安全メール」を活用し、より広範囲の皆さんに伝達できるように工夫した。 |
|---|---|
| 成果<br>参加者の声など | 「安心安全メール」の普及効果により、地区外からの参加も数多くあり、前年と比べ全体的に年間を通して参加者の増が図られた。 |
| 課題と展望 | 更生保護女性会の創意工夫や、参加者同士の呼び掛けもあり、参加者数が増加してきた。今後も、更生保護女性会と協議し、例年の事業に加え、多くの皆さんに興味を持っていただける事業を積極的に取り込んでいきたい。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 幼児家庭教育学級 | 対象 | 3歳前後の<br>幼児と保護者 | 定員 | 第1回:10組<br>第2回:20組 |
| ねらい | 幼児期の過ごさせ方、育て方などについて学ぶ。同じ様な時期の子どもとその家族の交流の場としてつながる機会を作る。また、相談・情報交換の場を併設イベントと併せて開設し、交流を支援するとともに、地域社会における共生に向けた活動も行う。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | ふじ学園他 | 特色 | 家族で交流 | SDGsの目標№. | 1・3・4・5・10・11・16・17 |
| 会場 | 内牧地区公民館、内牧南公民館　他 | 教材資料等 | パンフレット | | |
| 実施までの経過 | 3月　企画検討 関連部門調整 方向性決定<br>4月～5月　企画内容の調整(講師・助言者等との打ち合わせ)<br>各事業1～2カ月前　関連団体打ち合わせ 広報作成・募集 役割分担(関係者との間) | PR方法 | 公民館だより<br>館内・他公民館にポスター、チラシ<br>SNS | | |
| | | 受付方法 | 窓口および電話<br>NPO・ボランティアによる代行 | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 7月7日(日) | 9:00～12:00 | ジャガイモ堀りとお宝さがし他 | 体験 | 33 | 39 | 72 | 農業指導<br>住民:設楽 |
| 10月26日(土) | 9:00～12:00 | さつまいも堀りとハロウィン他 | 体験 | 32 | 32 | 64 | 市立ふじ学園<br>畑・柿の提供:<br>田口 |
| 2回 | 6時間 | | | 65 | 71 | 136 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 障がいのある子どもとその家族、及び、未就学児とその家族のそれぞれの交流に加え、同一世代間での交流を行える様に実施した。芋ほり体験・試食会にお宝さがし、ハロウィン飾りづくり等のイベントと併せて実施した。開催は家族全員で参加が可能となる様に、土曜・日曜日とした。 |
| 成果<br>参加者の声など | 2年目を迎えた芋ほりイベントではあったが、少しづつ認知度も上がって来たようで、内牧地区に限らず多方面から参加者が集まり、参加人数も増えた。貴重な体験が出来たことや交流機会の設定に感謝しているとの感想を多くいただいた。 |
| 課題と展望 | 自然と触れ合い、収穫という体験自体が当該の子どもたちには新鮮で貴重だとお褒めの言葉をいただいた。一方、次年度以降も活性化されたイベントとするには飽きられない工夫が必要であることも感じられた。 |

内牧地区 3

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 家族ふれあい教室・うちまき蝶の観察会 | 対象 | 小学生以上とその家族 | 定員 | 約20組 |
| ねらい | 夏休みを利用し、内牧地区の豊かな自然を活用した野外活動体験を通して、家族がふれ合える機会を提供する。また、地区内に生息する蝶の補虫を実践し、観察し、学ぶことでさらに興味を持ち、楽しく学び合う家族の交流を図ることをねらいとする。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | | 特色位置づけ | 内牧の自然を生かした講座 | SDGsの目標No. | 1・4・16・17 |
| 会場 | 内牧南公民館及び内牧公園周辺 | 教材資料等 | レジュメ、レジンクラフト、紙工作 | | |
| 実施までの経過 | 5月10日（金） 実施概要決定（日時他）<br>6月19日（水） イベント内容決定<br>8月10日（土） 応募状況とスケジュール<br>8月31日（土） 中止（各種フォロー） | PR方法 | 近隣の小学校にチラシ・ポスター依頼公民館内にポスター掲示・チラシ配布<br>ブログ、SNS配信 | | |
| | | 受付方法 | 直接または電話で内牧南公民館に申込み<br>先着順、定員になり次第締め切り | | |

| 月日（曜） | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名：氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 8月31日（土） | | 中止 | | | | | |
| 1回 | | | | 0 | 0 | 0 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 熱中症指数が高い場合は公園での活動は中止とし室内のみの開催とすることを事前に告知することとした。<br>去年に好評であったレジンクラフト作りは残しつつ、新たに蝶を形どったステンドグラスのような紙工作を企画している。 |
| 成果<br>参加者の声など | 当企画は、内牧のみならず、市内の広範囲から参加希望者があった。<br>公民館報のみならず、各種SNS／メールによる周知には効果があるようだ。 |
| 課題と展望 | 暑い中の企画であるための回避策は準備したが、風水害などでの実施基準は必ずしも明確でなかった。特に今回のような天候は回復しているが、警報だけは発令されている状態での中止判断の理解は参加者への説明が難しかった。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 青少年体験教室<br>キッズフェスタうちまき 2024 | 対象 | 幼児<br>青少年 | 定員 | なし |
| ねらい | 幼児、小中学生を対象とし、遊び、学び、交流するイベントを通して、日常とは違う時間を、家族共々過ごしていただく。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 東武鉄道 （株） 春日部駅/東武鉄道広報<br>共栄大学 国際経営学部 伊藤ゼミ<br>春日部工業高校 電気科、他 | 特色<br>位置づけ | 家族で交流<br>産官学連携 | SDGsの目標No | 1・4・16・17 |
| 会場 | 内牧地区公民館 | 教材<br>資料等 | 協力機関からの遊具（ゲーム・模型）及び関連資料（写真等） | | |
| 実施までの経過 | 5月中: 企画/出展打診/施設仮予約<br>7月中: 実現内容の調整・計画<br>:公民館報掲載<br>8月中: 小・中学校案内<br>9月初: 広報（ニュースリリース/SNS<br>9月中: 配信）<br>出展者最終調整 | PR方法 | 公民館報／メール配信（小学校）／市SNS・メール／NEWS RELEASE/出展者HP記載およびX(Twitter配信） | | |
| | | 受付方法 | 自由参加型:受付無し | | |

| 月日（曜） | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 9月29日（日） | 10:00～15:00 | 展示＋イベント体験<br>・鉄道ワールド<br>・ゲームワールド<br>・東武鉄道コーナー | 見学<br>体験 | 265 | 243 | 508 | 共栄大学 伊藤准教授<br>春日部工業高校 富沢教諭他<br>東武鉄道春日部駅長他 |
| 1回 | 5時間 | | | 265 | 243 | 508 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 子どもたちに人気の、鉄道に関する制服着用、模型の走行・展示・体験、写真展の開催、体験型ゲーム参加が出来るように企画を立案した。 実施に当たっては、内牧地区に関係の深い、大学・高校・企業と連携し、地域で事業を盛り上げることをも狙いとした。また、普段、 コミュニケーションをとる機会の少ない父親との参加も出来るように、日曜日開催を行った。 |
| 成果<br>参加者の声など | 内牧を中心に多くの皆さんに参加していただけた（前年比40％増）。実施したアンケートからも多くの参加者が内容に満足し、90％を超える参加者がまた参加したいとの回答をいただけた。見学型から体験の比重を高めたことにより、昨年度に比べ、それぞれのコーナーでの滞留時間も長くなったようだ。 |
| 課題と展望 | 開催時間を待ちきれずに、朝から多くの方に来館していただけた。駐車場の混雑緩和などを考えるとプログラムを見直し、入場者の平準化を図ることの検討も必要になってくると思われる。 |

内牧地区　5

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 青少年体験教室<br>障がいのある子どもと家族の交流会<br>キッズ交流ステーションうちまきⅠ・Ⅱ | 対象 | 障がいのある子どもとその家族 | 定員 | 各15組程度 |
| ねらい | 障がいのある子どもとその家族に向けて、同じ様な特徴・個性を持つ方々とつながる機会を作る。また、親子・家族で孤立しない様に相談・情報交換の場を開設し、交流を支援するとともに、地域社会における共生に向けた活動も行う。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 特別支援学校、支援級、障がい者支援課、ふじ学園、自立支援協議会子ども部会、市内事業者、親の会、第七保育所、共栄大学　他多数 | 特色位置づけ | 家族で交流 | SDGsの目標No | 1・4・16・17 |
| 会場 | 内牧地区公民館、内牧南公民館　他 | 教材資料等 | パンフレット | | |
| 実施までの経過 | 3月　企画検討 関連部門調整 方向性決定<br>4月～5月　企画内容の調整（講師・助言者等との打ち合わせ）<br>各事業1～2カ月前　関連団体打ち合わせ 広報作成・募集 役割分担（関係者との間） | PR方法 | チラシ<br>SNS | | |
| | | 受付方法 | 窓口および電話<br>NPO・ボランティアによる代行 | | |

| 月日（曜） | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 計 | 参加者 女 計 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | | | | |
| 6月22日（土） | 13:00～16:00 | 避難所設営＆座談会（KKSⅠ） | 体験 | 11 | 20 | 31 | 親の会Happy、ふじ学園、保育所、市内事業者、特別支援学校、市内小・中・高校他<br>東武動物公園<br>NPOはるいろ |
| 7月7日（日） | 10:00～12:00 | ジャガイモ堀りとお宝さがし他 | 体験 | 33 | 39 | 72 | |
| 9月14日（土） | 13:00～16:00 | 美術作品を作ろう　（KKSⅠ） | 会合 | 10 | 10 | 20 | |
| 10月26日（土） | 9:30～11：30 | さつまいも堀りとハロウィン他 | 体験 | 32 | 32 | 64 | |
| 11月1日～12月22日 | 52日 | こどもたちの美術展（文化祭） | 体験 | 353 | 354 | 707 | |
| 11月30日（土） | 11:00～14:00 | いきものとのふれあい（KKSⅡ） | 会合 | 24 | 27 | 51 | |
| 2月9日（日） | 10:00～16:00 | 講演会（とろみ食講座KKS Ⅱ） | 体験 | 26 | 56 | 82 | |
| 7回 | 52日25時間 | | | 489 | 538 | 1027 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 公民館の利用機会が少ない障がいのある子どもと家族の課題について、市場調査、市内の実情調査を行い、交流会の必要性を確認し、保護者、施設などの関係者と連携しR5年度より開催し、今年度も継続実施することとした。家族全員で参加が可能となる様に、土曜・日曜日の開催を基準とした。 |
| 成果参加者の声など | 2年目を迎えたキッズ交流ステーションであるが、少しずつ認知度も上がったようで、昨年よりは参加者が、どの事業でも増える傾向にあった。特に重度の障がいを持つお子さまと家族には、貴重な交流機会として感謝しているとの感想を多くいただいた。 |
| 課題と展望 | 上記に加え、共生イベントとして実施する「こどもたちの美術展」には、参加団体数も増え、来館者も長期展示であることも幸いして大幅に増えた。特に、外見上の違いがわかりにくい発達障害のあるお子さまと家族は、共生イベント（芋ほりなど）の方が参加しやすいようであることもわかってきた。 |

| 事業名<br>テーマ | 青少年体験教室<br>小・中学生の職業探索シリーズ<br>親子で考える仕事と職業体験 | 対象 | 小・中学生と保護者 | 定員 | 企画内容により個々に設定 |
|---|---|---|---|---|---|
| ねらい | 公民館の利用が少ない壮年/若年層に公民館活動に興味を持って頂くため、子どもの職業探索を保護者と共に考える機会とする。これにより、公民館の認知向上と共に職業観の育成、保護者とのコミュニケーションの促進、地元・地域愛の育成などを図っていく事を狙いとする | | | | |
| 協力機関及び団体 | 地域内の産・官・学連携<br>(東武タワー(株)・千葉工業大学・日本薬科大学・埼玉県警・消防本部他) | 特色位置づけ | 親子の会話交流 | SDGsの目標No | 1・4・16・17 |
| 会場 | 千葉工業大学<br>日本薬科大学<br>市消防本部 | 教材資料等 | 各回:職業探索テキスト(公民館作成)<br>協力機関提供資料・機器など | | |
| 実施までの経過 | 前年度12月～2月 全体企画の検討<br>計画書作成・提出(薬科大)<br>5月～ 実施調整(個別参加条件)<br>6月～ PR/募集活動、教材準備<br>7月～ 事業開催(7/23、8/9、10/6)<br>報告/レビュー | PR方法 | (1)公民館だより掲載<br>(2)SNS配信/メール配信<br>(3)近隣小・中学校などにポスター掲示・チラシ配架依頼 | | |
| | | 受付方法 | 各回:電話か直接申込 | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 7月23日(火) | 10:30～14:00 | 未来探検＆スカイツリー見学 | 体験 | 21 | 21 | 42 | 千葉工業大学 |
| 8月9日(金) | 9:00～12:30 | 薬のいろいろ・薬の仕事 | 体験 | 8 | 36 | 44 | 日本薬科大学 |
| 10月6日(日) | 10:00～12:30 | 警察と消防のお仕事 | 体験 | 34 | 24 | 58 | 消防本部・県警察 |
| 3回 | 9時間30分 | | | 63 | 81 | 144 | |

| 企画運営上の工夫 | ・親子のコミュニケーションを図るため、夏休みや土日を中心に企画した。<br>・対象となる職業選定：小・中学生に人気のある職業であることと併せ、地域に関係の深い、企業・大学・仕事の存在を知り地元愛を育成するものとした<br>・テキスト準備：理解促進と保護者とのコミュニケーションの促進の両面から素材提供 |
|---|---|
| 成果参加者の声など | 各事業とも定員を上回る応募をいただき、実施後アンケートでも普段、学校では体験できないこと、家族と参加できることに高い評価を頂いた。繰り返し参加する子どもたちも複数おり、次回の企画への問い合わせを受けることも多々あった。 |
| 課題と展望 | 暑さ対策も考慮し、現地集合、解散実施としたため、安全に実施できた。次年度以降にも反映していただきたい。<br>参加者募集の際は、公平性などの観点からも状況をみて、抽選方式をとることも検討する。 |

内牧地区　7

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 音楽鑑賞会<br>うちまき ミュージックフェスタ　夏・冬 | 対象 | 一般<br>子供と保護者 | 定員 | なし |
| ねらい | 市内外の教育・文化団体が、日頃の活動の成果を発表し、地域の方々との交流を図る。音楽環境を醸成することによって、地域の文化芸術の振興を目的とする。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 市内外で活動する教育・音楽団体 | 特色位置づけ | 重点事業 | SDGsの目標No | 4・11・17 |
| 会場 | 内牧地区公民館 | 教材資料等 | ポスター・チラシ<br>プログラム | | |
| 実施までの経過 | 5月～7月　出演団体交渉（夏・冬）<br>7月～8月　プログラム調整（夏）<br>8月初旬　公民館だより掲載・準備<br>プログラム作成/PR・募集<br>11月中旬　プログラム調整（冬）<br>12月初旬　公民館だより掲載<br>プログラム作成/PR・募集<br>12月初～中　開催準備 | PR方法 | 公民館だより<br>ちらし・ポスター<br>SNS・メール | | |
| | | 受付方法 | 自由参加<br>問い合わせ：窓口および電話 | | |

| 月日（曜） | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 8月25日（日） | 13:00～16:00 | ミュージックフェスタ夏 | 観賞 | 53 | 134 | 187 | Blue RiverSideOrc<br>はるぴよ隊<br>春日部共栄高校 |
| 12月22日（日） | 13:30～15:30 | ミュージックフェスタ冬 | 観賞 | 95 | 177 | 272 | 内牧小マーチングクラブ<br>春日部中合唱部<br>春日部市吹奏楽団<br>共栄大学　伊藤ゼミ |
| 2回 | 5時間 | | | 148 | 311 | 459 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 出演団体は、普段接する機会の少ない管弦楽・吹奏楽とし市内の各楽団と折衝し上記楽団に決定した。また、今回は市中の学校との調整も行い、学習成果の校外発表の場としても活用していただくこととなった。併せて、保護者の見学・来館がしやすいように休日開催とした。 |
| 成果参加者の声など | 子どもたちによる演奏会を実施した結果、普段来館機会が少ない若年層とその保護者世代層の多くの来館が実現できた。併せて開催した「デジタルアート展」「こどもたちの美術展」「障害者の事業所による飲食販売」により、飽きることなく長時間楽しめたとの感想もいただけた。 |
| 課題と展望 | 「学校」に協力したいただけた今年度の音楽会は、地域の交流促進、活性化に役立ちそうであることが確認できた。ただ、自主的な地域活動をに結び付けていくためには、繰り返し実施することや、新たに様々な形態の事業を通して交流機会を増やすことも検討が必要。 |

| 事業名<br>テーマ | 内牧ふれあい講座 | 対象 | 内牧地区内の概ね60歳以上の方 | 定員 | なし |
|---|---|---|---|---|---|
| ねらい | 高齢者の日常の健康管理や生きがいについて考える。<br>地域及び市内で活躍する人材を活用し、事業内容の充実を図る。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 内牧地区いきいきクラブ連合会（梅田会） | 特色位置づけ | 高齢者同士の交流及び健康・生きがいづくり | SDGsの目標No | 3・4・11・17 |
| 会場 | 内牧地区公民館 | 教材資料等 | レクリエーション用具 | | |
| 実施までの経過 | 3～5月　講師調整<br>会長に参加者取りまとめ依頼<br>6月　公民館だより6月号発行 | PR方法 | 公民館だより<br>各クラブ会長へ会員への周知を依頼 | | |
| | | 受付方法 | 一般：直接又は電話で公民館へ申込み<br>クラブ会員：クラブ会長へ参加申込み | | |

| 月日（曜） | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 7月10日（水） | 10:00～12:00 | けん玉で足腰を鍛えよう | 体験 | 3 | 7 | 10 | 内牧市民センター職員 |
| 7月17日（水） | 10:00～12:00 | カーレットにチャレンジ | 体験 | 3 | 13 | 16 | カーレット春日部 |
| 7月24日（水） | 14:00～15:00 | たのしくフレイル予防 | 体験 | 3 | 16 | 19 | 明治安田生命 |
| 3回 | 5時間 | | | 9 | 36 | 45 | |

| 企画運営上の工夫 | ・今年度もいきいきクラブ内牧地区の梅田会との共催により実施。<br>・参加者を一般とクラブ会員で別に募集し、会員の参加申込みはクラブで取りまとめをお願いする。 |
|---|---|
| 成果<br>参加者の声など | ・すごく分かりやすい説明で良かった。<br>・具体的な内容を教えてもらい、勉強になった。<br>・健康体操的な要素のもの中心で楽しかった。 |
| 課題と展望 | ・今回は講師の都合もあり、3回共統一時間による開催ができなかったため参加者から参加しづらいといった声もあった。そのためなるべく同じ時間に開催できるように調整をする必要がある。また、3週連続で参加しづらい状況もあるため工夫が必要。 |

内牧地区 9

| 事業名<br>テーマ | 教養講座<br>うちまきみんなで考えるスマホ活用講座 | 対象 | 内牧地区内の概ね60歳以上の方 | 定員 | 15名<br>程度 |
|---|---|---|---|---|---|
| ねらい | 情報化社会が進展する中で、誰でもスマートフォン・PCを活用し行政の様々なサービスが受けられるようにする。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 行政デジタル改革課 | 特色位置づけ | 高齢者デジタルデバイド対策事業<br>重点事業 | SDGsの目標No | 4・11・12<br>16・17 |
| 会場 | 内牧南公民館　大会議室 | 教材資料等 | テキスト | | |
| 実施までの経過 | 3～5月　第1回打合せ<br>4月　公民館だより4月号掲載<br>5月中旬　申込受付開始<br>12月　公民館だより12月号掲載<br>申込受付 | PR方法 | 公民館だより<br>各クラブ会長へ会員への周知を依頼 | | |
| | | 受付方法 | 窓口および電話 | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名<br>氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 男 | 女 | 合計 | |
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 6月21日(金) | 13:30～15:00 | 基礎編 | 講義 | 2 | 7 | 9 | 行政デジタル改革課 |
| | 15:30～17:00 | 基礎編 | 講義 | 2 | 2 | 4 | 職員 |
| 1月30日(木) | 13:30～15:00 | 基礎編 | 講義 | 2 | 7 | 9 | 公民館職員 |
| | 15:30～17:00 | 基礎編 | 講義 | 1 | 3 | 4 | |
| 2回 | 6時間 | | | 7 | 19 | 26 | |

| 企画運営上の工夫 | スマートフォンを活用し行政の様々なサービスが受けられるようにするため、行政デジタル改革課職員が自ら講師になり対応した。行政デジタル改革課や生涯学習推進委員の皆さまと協業して実施し、ノウハウや課題の共有をした。 |
|---|---|
| 成果<br>参加者の声など | ・難しかったが、わからなかったことが少しできるようになった。<br>・参加してよかった。何度も触って覚えようと思えた。<br>・また復習のために参加したい。 |
| 課題と展望 | 基礎的な内容を繰り返し行うとともに質問や気になっていることを聞く時間を増やすことが大事。しかし、内容として踏み込みにくい内容もあるためどこまでの範囲を対象とするかが難しい。 |

| 事業名<br>テーマ | 教養講座<br>やさしい俳句教室 | 対象 | 成人一般 | 定員 | 15名 |
|---|---|---|---|---|---|
| ねらい | 余暇の時間を利用して、教養を向上させる機会を提供する。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 花の俳句会 | 特色位置づけ | | SDGsの目標No | 4・11・12<br>16・17 |
| 会場 | 内牧市民センター | 教材資料等 | テキスト | | |
| 実施までの経過 | 10月 講師と打ち合わせ<br>11月 公民館だより2月号発行<br>参加申込み開始 | PR方法 | 公民館だより、ポスター掲示 | | |
| | | 受付方法 | 電話または窓口で申込み(先着順) | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 11月30日(土) | 13:30～15:30 | 俳句教室 | 体験 | 1 | 1 | 2 | 花の俳句会 磯谷 |
| 12月7日(土) | 13:30～15:30 | 俳句教室 | 体験 | 1 | 1 | 2 | |
| 2回 | 4時間 | | | 2 | 2 | 4 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | ・俳句サークルの方に当日の補助をお願いした。<br>・俳句サークルが公民館で利用するときの活動内容を行うことでサークルに参加しやすい流れにしている。 |
| 成果参加者の声など | ・すごく分かりやすい説明で良かった。<br>・具体的な内容を教えてもらい、勉強になった。 |
| 課題と展望 | ・10年続いている企画だが、参加者を集めるのが非常に難しい状況となっているが、参加した方からは好評で、サークルに加入して俳句を続ける方が多いことから、今後も募集等に工夫しながら継続する必要がある。 |

内牧地区 11

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 教養講座<br>うちまき歴史探訪ツアー<br>「癒しと救済のお地蔵様めぐり」 | 対象 | 一般 | 定員 | 20名 |
| ねらい | 地域住民に内牧の史跡を紹介し、郷土愛を深めてもらうとともに、歴史を学ぶことで教養の向上を図る。また、地域住民以外の方にも参加していただき、内牧の魅力をPRする。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | | 特色位置づけ | 重点事業 | SDGsの目標No | 4・11・12<br>16・17 |
| 会場 | 内牧地区内<br>(雨天時)中止 | 教材資料等 | しおり(配布)、壁新聞(館内掲示) | | |
| 実施までの経過 | 12月上旬　打ち合わせ<br>2月下旬　講師依頼<br>現地踏査 | PR方法 | 公民館だより2月号掲載、安心安全メール配信、他公民館にチラシ配架 | | |
| | | 受付方法 | 2/15(土)から内牧地区公民館の窓口又は電話で受付 | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 3月8日(土) | 13:00～16:00 | 内牧地区内の散策 | 散策 | 6 | 10 | 16 | 内牧フォークロア<br>高橋　昌子 |
| 1回 | 3時間 | | | 6 | 10 | 16 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 事前に講師と打ち合わせや現地踏査を重ね、交通量が多いところの確認を行い、参加者の安全や健康面を第一に考えたルートを設定した。参加者が事業終了後も学びを継続できる資料として残せる「しおり」として探訪する史跡の解説文を作成し、当日参加者に配布した。拡声器を用意し講師の説明が聞き取りやすいようにした。 |
| 成果<br>参加者の声など | 継続して行っている中でリピーター、新規参加者とバランスよく参加している。<br>「市の中の郷土研究に参加したい。」「古隅田川の流れの歴史が興味深かった。緑がいっぱいの時にも歩きたい。」といった声が上がった。 |
| 課題と展望 | 地域の魅力について学びたいという人と歩きたいという人の事業参加への意欲の違いが出てしまっている。本来の目的である学習という点にフォーカスしていけるよう工夫が必要。外での開催のため開催時期や場所の工夫が必要となってきている。 |

| 事業名<br>テーマ | 趣味の講座 | 対象 | 幼児<br>小学生 | 定員 | 15人 |
|---|---|---|---|---|---|
| ねらい | 余暇の時間の有効活用及び学習機会の提供を図る。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | | 特色位置づけ | | SDGsの目標No | 4・11・17 |
| 会場 | 内牧南公民館 | 教材資料等 | けん玉<br>竹、インパクトドライバー<br>ドリルビット | | |
| 実施までの経過 | 4月上旬 公民館だより掲載<br>4月中旬 募集開始<br>8月上旬 公民館だより掲載<br>8月中旬 募集開始<br>2月上旬 公民館だより掲載<br>募集開始 | PR方法 | チラシ・公民館だより | | |
| | | 受付方法 | 電話または直接申し込み | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 5月18日(土) | 10:00～12:00 | けん玉 | 体験 | 6 | 4 | 10 | 公民館職員 |
| | | | | 3 | 6 | 9 | |
| 9月16日(土) | 10:00～12:00 | けん玉 | | 4 | 2 | 6 | |
| 2月22日(土) | 13:00～16:00 | 竹あかりづくり | 体験 | 2 | 18 | 20 | 公民館職員 |
| 3回 | 7時間 | | | 15 | 30 | 45 | |

| 企画運営上の工夫 | 事業の見学に来た保護者にも参加できるような内容とした。<br>地域の特色を生かし地元でとれる竹を材料とした。<br>ひな祭りの時期が近いため竹あかりのデザインを桜のものにした。 |
|---|---|
| 成果<br>参加者の声など | 難しい印象だったが、できることが増えてよかった。教えてもらえる機会があってよかった。<br>体験活動を通して家でも活用できるものをテーマとしたことで参加者の満足度が高かった。・自分ではなかなか作れないものを作ることができてよかった。・普段工具を使うことがないのでとても楽しかった。 |
| 課題と展望 | 幅広い年代の参加者に趣味として新しいことに挑戦してもらえる内容や続けていける内容を考えていく必要がある。<br>年齢が低いほどドリルで穴を開けるのに疲れることが多かったため、保護者の負担が多かった。準備に手間がかかるが、参加者からの満足度は高い事業であった。 |

内牧地区　13

| 事業名<br>テーマ | 令和6年度　市民体育祭<br>第69回 内牧地区大会 | 対象 | 地区住民 | 定員 | なし |
|---|---|---|---|---|---|
| ねらい | 地域住民の健康増進・体力向上、住民相互の交流を図る。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 主催：春日部市・内牧地区自治会連合会<br>主管：内牧地区体育振興会<br>後援：春日部市コミュニティ推進協議会 | 特色位置づけ | 重点事業 | SDGsの目標No | 11・17 |
| 会場 | 内牧小学校　校庭 | 教材資料等 | 競技台本、プログラム | | |
| 実施までの経過 | 6月15日(土)　代表者会議<br>プログラム編成会議<br>9月22日(日)　係別役員会<br>10月12日(土)　前日準備 | PR方法 | 公民館だより<br>8月末にプログラムを全戸配布 | | |
| | | 受付方法 | 地区対抗種目の出場選手については地区毎に取りまとめ、所定の申込書で内牧地区公民館へ申し込む。自由参加種目は当日招集する。 | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 10月13日(日) | 8:30～13:30 | 開会式<br>自由参加競技<br>地区対抗競技<br>閉会式 | 競技 | 350 | 350 | 700 | 大会役員<br>競技役員 |
| 1回 | 5時間00分 | | | 350 | 350 | 700 | |

| 企画運営上の工夫 | 昨年度より開催時間を長くし、種目を1種目増やした。<br>地区対抗総合順位3位までの表彰を行った。 |
|---|---|
| 成果<br>参加者の声など | パン食い競争について、小学生も参加可能にしたことは好評だった。<br>地区対抗の表彰を行ったことは、参加住民のモチベーションの向上や住民相互の交流につながった。 |
| 課題と展望 | 地区によっては、役員や選手の選出に苦慮しているため、関係団体と相談しながら検討する必要がある。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 内牧地区文化祭 | 対象 | 公民館利用団体・地域住民・一般 | 定員 | なし |
| ねらい | 地区内で文化的活動をしているサークル・個人の紹介と発表の場を設け、地域還元を図ると共に、多くの方に芸術や地域文化の素晴らしさを味わってもらう。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 主催:内牧地区自治会連合会<br>協力:内牧小学校(児童作品展示)他 | 特色 | 重点事業 | SDGsの目標No. | 4・8・11・17 |
| 会場 | 内牧地区公民館 | 教材資料等 | 進行台帳、プログラム等 | | |
| 実施までの経過 | 6月　遊学フェスティバル参加事業申込<br>8月　参加申込開始<br>9月初旬　参加申込み締切<br>10月初旬　調整会議<br>11月初旬　各団体リハーサル<br>11月11日(土)　前日準備 | PR方法 | (1)公民館だより10月号掲載<br>全戸配布(11月1日付)<br>(2)ポスター掲示及び配架<br>(3)安心安全メール・ツイッター配信 | | |
| | | 受付方法 | 参加団体は参加申込書を記入し、申し込む。<br>当日の来場は自由 | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 11月1日～12日<br>11月12日(日) | 9:00～17:00<br>10:00～16:00<br><br>16:00～16:30 | 作品展示<br>舞台発表<br>作品展示<br>後片付け | 展示<br>実演<br>展示 | 140 | 200 | 340 | 各参加団体<br>・芸能の部(団体)<br>・実演の部(1団体)<br>・展示の部(3団体)<br>・内牧小学校<br>・児童福祉施設 |
| 1回 | 12日6時間 | | | 140 | 200 | 340 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 参加者からの声もあり実行委員会形式で開催。展示部門を11月の早い時期から開催し多くの方に観てもらえるようにした。また他事業と連携して様々な教育機関から展示物を募集した。 |
| 成果<br>参加者の声など | 各部門に昨年度よりも多くの来館者があり、好評を得ていた。<br>展示の期間が長かったためじっくり見ることができた。<br>販売するものの種類が増えたことにより参加者の満足度も高かった。 |
| 課題と展望 | 複数の公民館で活動をしていて他の公民館の文化祭と開催時期がかぶり参加できない団体が出てしまうことを防ぐため、開催時期の検討が必要。 |

内牧地区 15

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 公民館利用者のつどい<br>人権問題研修会<br>自衛消防訓練 | 対象 | 公民館利用団体<br>代表者及びサークル会員 | 定員 | なし |
| ねらい | 公民館利用者相互の交流を図り、公民館活動の活性化を図るとともに、公民館利用の基本事項の確認等で利用の適正化を促す。併せて、人権意識の啓発及び防災意識の向上を図る。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 春日部市消防本部 | 特色位置づけ | | SDGsの目標No | 3・4・11・17 |
| 会場 | 内牧南公民館<br>内牧地区公民館 | 教材資料等 | 公民館利用者のつどい資料 | | |
| 実施までの経過 | 12月　公民館だよりにて周知<br>利用者へ通知の配布 | PR方法 | 公民館だより12月号掲載<br>窓口にて通知配布 | | |
| | | 受付方法 | 当日、窓口にて | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 計 | 参加者 女 計 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | | | | |
| 3月2日(日) | 10:30～12:00 | 公民館利用者のつどい<br>人権問題研修会<br>自衛消防訓練<br>(内牧南公民館) | 会議<br><br>訓練 | 2 | 4 | 6 | 公民館職員 |
| | 15:00～16:30 | 公民館利用者のつどい<br>人権問題研修会<br>自衛消防訓練<br>(内牧地区公民館) | 会議<br><br>訓練 | 4 | 6 | 10 | 公民館職員 |
| 2回 | 3時間 | | | 6 | 10 | 16 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 開催通知は利用団体の来館日に手渡しとした。 |
| 成果<br>参加者の声など | 利用者へは意見・要望などを提出してもらった。<br>次の意見等があった。<br>・機材も充実しており、使いやすいです。<br>・生きがいを感じて皆さん通ってきています。 |
| 課題と展望 | 利用者へインターネット予約のレクチャーなど実践的な部分を含めた方が利用の促進につながると考えられる。また、地区センター機能の追加によることでの利用に関する意見収集は必要である。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 第48回婦人バレーボール大会 | 対象 | 内牧地区在住<br>18歳以上の女性 | 定員 | なし |
| ねらい | スポーツを通し地区内女性の交流を図り、健康増進に寄与する | | | | |
| 協力機関及び団体 | 内牧地区体育振興会、共栄大学バレーボールサークル | 特色位置づけ | | SDGsの目標No | 11・17 |
| 会場 | 共栄大学　体育館<br>練習会場として、内牧地区公民館体育室及び内牧小体育館 | 教材資料等 | | | |
| 実施までの経過 | 5月18日　体育振興会役員会<br>6月　1日　代表者会議<br>6月　8日～　内牧小及び内牧地区公民館にて練習<br>6月22日　前日準備 | PR方法 | 公民館だより4月号 | | |
| | | 受付方法 | 代表者会議にて名簿提出により参加チームを受け付ける | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 6月23日(日) | 8:00～16:00 | ソフトバレーボール試合 | 競技 | 103 | 167 | 270 | 協力:共栄大学バレーボールサークル |
| 1回 | 8時間 | | | 103 | 167 | 270 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 共栄大学バレーボールサークルに審判等の運営協力を依頼した。昨年まで体育振興会バレーボール部会が手書作成していた掲示用トーナメント表を、拡大コピーし作成協力した。 |
| 成果<br>参加者の声など | 4人制のソフトバレーボールに12チームが参加した。参加したメンバーは、日頃の練習成果を発揮し、和気あいあいと楽しみながらプレイし他チームのメンバーと交流していた。 |
| 課題と展望 | けがをした参加者がいたため、十分な準備体操と体調に合わせた参加を促したい。 |

内牧地区　17

| 事業名<br>テーマ | 第41回<br>内牧地区少年少女球技大会 | 対象 | 内牧地区の<br>小学生 | 定員 | 200 |
|---|---|---|---|---|---|
| ねらい | 地域に育つ子どもたちの交流と健康増進を図る | | | | |
| 協力機関<br>及び団体 | 内牧地区自治会連合会、内牧ソフトボール連盟、内牧地区体育振興会 | 特色 | 地域一体となり青少年の交流、健康増進を図る事業 | SDGsの<br>目標No. | 11・17 |
| 会場 | 内牧小学校　校庭 | 教材<br>資料等 | | | |
| 実施までの経過 | 6月　1日（土）　準備会<br>6月中旬　案内、各種依頼通知発送<br>7月　9日（火）　参加申込み締切り<br>関係団体へ協力依頼<br>地元市議等へ案内状送付<br>7月中旬　用具準備、消耗品購入<br>7月20日（土）　役員会兼代表者会議<br>7月26日（金）　内牧小放送機器等借用<br>7月27日（土）　前日準備 | PR方法 | 公民館だより6月号<br>各自治会回覧 | | |
| | | 受付方法 | 自治会各地区長に取りまとめを依頼し、取りまとめた申込書は、7月9日（火）までに内牧地区公民館へ提出（FAX可） | | |

| 月日（曜） | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名<br>氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 7月28日（日） | 8:00～10:00 | キックベースボール競技<br>ドッジボール競技 | 競技 | 36 | 66 | 102 | 内牧ソフトボール連盟<br>競技役員 |
| 1回 | 2時間00分 | | | 36 | 66 | 102 | |

| 企画運営上の工夫 | より多くの参加者を募るため、公民館だより6月号に記事を掲載した。各地区自治会、内牧ソフトボール連盟、内牧地区体育振興会の方々のご協力のもと、内牧地域のイベントとなるよう実施した。 |
|---|---|
| 成果<br>参加者の声など | 猛暑（暑さ指数31超）のため、キックベースボールは2試合終了時の午前10:00で中止となったが、ドッジボールは予定していた全ての試合を実施できた。<br>地区混合チームでの参加もあり、子どもたちの交流の場となった。 |
| 課題と展望 | キックベースボールはドッジボールと比較し競技時間が長いので、熱中症予防の対策等について、競技種目や会場について、協力団体と協議する必要がある。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 公民館だより「うちまき」発行 | 対象 | 内牧地区内世帯 | 定員 | 発行部数<br>約4,500部 |
| ねらい | 公民館事業のPRや事業報告、地区内社会教育団体の活動PR、地域情報などを地域住民に提供する。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 内牧地区自治会連合会 | 特色位置づけ | | SDGsの目標No | 3・4・11・17 |
| 会場 | | 教材資料等 | | | |
| 実施までの経過 | 発行月の前月中旬に原稿作成・印刷<br>広報かすかべと隔月同日配布<br>（偶数月1日発行） | PR方法 | | | |
| | | 受付方法 | | | |

| 月日（曜） | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 | | | 講師・助言者の職名<br>氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 男 | 女 | 合計 | |
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 6回（偶数月）<br>特別号2回 | | 主催事業等の情報提供<br>体育祭・文化祭特別号の発行 | | | | | |
| 8回 | | | | 0 | 0 | 0 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 内牧南公民館では新規事業を実施したので、その広報を見やすいように工夫した。<br>また、既存の事業や地域情報、事業報告も見やすい紙面になるよう、文字だけでなく、写真や絵などを入れレイアウトを考えた。 |
| 成果<br>参加者の声など | 公民館事業開催の情報だけでなく、地域で実施した催しが取材できた場合はその様子も掲載しているので、興味をもって見ていただけている方が多い。 |
| 課題と展望 | 2か月に1回の発行であるため、特に新規事業の掲載時期は、十分検討する必要がある。 |

内牧地区 19　　【防災・防犯の拠点に関する事業（地区センター事業）】

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名<br>テーマ | 内牧一区自主防災訓練 | 対象 | 地区内住民 | 定員 | なし |
| ねらい | 年に1度の防災訓練を行い、地区防災会活動の支援をする。<br>訓練を行うことにより安全な生活を送ることができる。<br>また、訓練を通して災害時の対応を学ぶ機会とする。 | | | | |
| 協力機関及び団体 | 内牧一区自主防災会、危機管理防災課、内牧地区赤十字奉仕団 | 特色位置づけ | | SDGsの目標No | 1・11・13 |
| 会場 | 内牧南公民館 | 教材資料等 | 避難所物資、水消火器、AED等 | | |
| 実施までの経過 | 4月下旬　日程調整ほか交渉等<br>5月9日(木)　内牧一区防災会、危機管理防災課及び公民館職員打合せ | PR方法 | 一区自治会内の回覧板等で周知 | | |
| | | 受付方法 | 当日、直接来場 | | |

| 月日(曜) | 時間 | 内容 | 方法 | 参加者 男 | 参加者 女 | 参加者 合計 | 講師・助言者の職名 氏名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 総時間数 | | | 計 | 計 | | |
| 5月25日(土) | 10:00～11:30 | ①避難訓練<br>②消火訓練<br>③AED訓練<br>④資機材取扱訓練<br>⑤講演会<br>⑥応急担架訓練 | | 20<br>(子供0) | 21<br>(子供0) | 41<br>(子供0) | 春日部市消防本部職員<br>危機管理防災課職員 |
| 1回 | 1時間30分 | | | 20 | 21 | 41 | |

| | |
|---|---|
| 企画運営上の工夫 | 地区自主防災組織及び危機管理防災課との打合せに当初から参画し、情報共有しながら事業を進めてきた。また、今年度は能登半島地震被災地への派遣経験のある危機管理防災課職員による現地での経験を踏まえた講演をお願いし、参加者の防災意識をより一層高めることができた。 |
| 成果参加者の声など | 実際に能登半島地震被災地を経験した人の体験談を聞けて大変参考になった。避難者も避難所運営に協力する必要があることを知った。簡易ベッドや間仕切りの作成やAEDの操作など体験できて良かった。などの声があった。 |
| 課題と展望 | 個々の単位自治会との防災訓練に留めず、今後は、複数の自治会、ひいては内牧地区自治会連合会での開催にもつなげるよう検討する必要がある。 |